

「ハーモニカ」について

ハーモニカは、1821年にドイツで発明されたリードオルガンに属する楽器です。1930年代には世界的に普及し、日本でも一時国民的楽器として盛んになりました。現在は、クラシックからポピュラー・ジャズなど、多くの音楽がハーモニカで聴かれるようになりました。今回のコンサートで演奏するのは、クロマチック・ハーモニカです。一本で全ての調子の曲が演奏可能です。オーケストラやピアノなど他の楽器ともしばしば共演します。

演奏者プロフィール

ハーモニカ・崎元讓（さきもと・じょう）

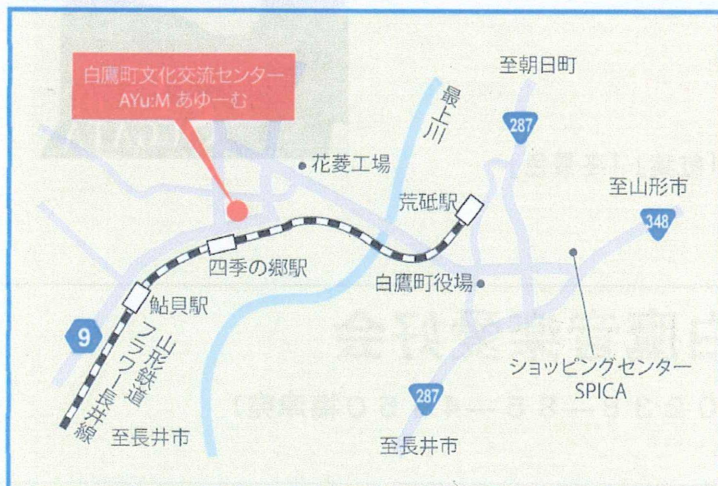
1947年、東京生まれ。佐藤秀廊氏に師事。ドイツ・トロシゲン市立音楽院に留学し、ヘルムート・ヘロルド氏に師事。英国では世界的ハーモニカ奏者トミー・ラリー氏のレッスンを受ける。第13回世界ハーモニカコンクール、ソリスト部門で第二位。ヨーロッパ各地、アメリカなどで演奏。帰国後は、各地でのリサイタル活動や岩城宏之指揮のNHK交響楽団、小沢征爾の新日本フィルを始め各地のオーケストラとも共演。また、スタジオ・ミュージシャンとして、テレビ、ラジオ、映画、商業音楽などの分野でも活躍。自身のCDアルバムも多く発売されている。特に、2002年に発売されたCD「ポエム・ハーモニカ」は平成14年度文化庁芸術祭レコード部門で優秀賞に選ばれた。2008年5月には、スペインの大作曲家ロドリゴの幻の作品（初演以来50年ぶりに発見されたハーモニカとピアノのための曲）を含めたCDが発売された。2011年2月にハーモニカ・デュオ名曲集が発売される。（社）日本芸能実演家団体協議会・常任理事。今年31回となる「F. I. H. ハーモニカコンテスト」では第1回から審査員を務めている

ピアノ・菅田富士江（すがた・ふじえ）

東京品川生まれ、7歳より林祐子氏にピアノを師事。上野学園高等学校音楽家を経て、上野音楽大学音楽部ピアノ科卒業。鈴木美和子、久保春代、館野泉の諸氏に師事。ジャズ理論、アレンジを安田芙充央氏に師事。1987年よりフィンランド・クフモ室内楽フェスティバルに参加し、コンスタンチン・ボギノ、レスリー・ハワード両氏に学ぶ。1994年より、音楽療法を目的としたコンサートを東芝病院において定期的に行っている。1996年より“崎元讓ハーモニカセミナー”および“崎元讓と仲間たちによるコンサート”のピアニストをつとめている。現在、ソロのほか、ピアノデュオ、全国各地での室内楽コンサートへの出演や、声楽リサイタル、およびコンクールの伴奏などで活躍している。ハーモニカの崎元讓とは各地のコンサート、CDで共演している。

演奏会場「白鷹町文化交流センター」案内図

周辺地図



山形市方面より…

◆お車でお越しの場合
山形市より国道348号線で
約35分 普通
(駐車場140台)

